



有限会社 協栄 SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行って参ります。

2022年8月5日
有限会社 協栄
代表取締役 藤原 智昭

当社の SDGs への取り組み

機械式駐車場の安全を支えるスペシャリストを目指して



機械式駐車装置や立体駐車場の管理・修繕業務、景観商品の設計・開発に果敢に挑戦することで地域の安心・安全を支える“町医者的な存在”を目指します。

【主な取り組み】

- ・マンション等にある機械式駐車装置や立体駐車場の管理・修繕業務
- ・物件ごとの“カルテ”（メンテナンス記録等）策定による厳格な現場管理
- ・景観や実用性を考慮した、自社開発の自動車盗難防止用支柱の販売

誰もが働きやすい職場環境づくり



充実した社内教育や職場環境の整備を通じて、従業員全員が元気に働くことのできる活気ある職場づくりに取り組みます。

【主な取り組み】

- ・有給休暇の積極的な取得の推奨
- ・従業員の健康維持の為に、定期健康診断受診の推奨
- ・柔軟な勤務体制の構築を目指す（2030年までにフレックスタイム制度の導入）

コンプライアンスへの取り組み



法令順守の徹底や継続的な社内研修と啓蒙活動の実施により、ガバナンス向上に取り組み、地域社会から信頼される会社づくりに努めます。

【主な取り組み】

- ・ハラスメントの定義や行為の禁止について社内規定に明文化
- ・法令順守に向け、各種メーカーと協力して行う継続的な研修の実施

地球環境への配慮



ペーパーレスへの取り組みや低燃費車の使用、LED照明への切り替えにより省エネ・省資源化を推進し、地球環境に配慮した取り組みを継続してまいります。

【主な取り組み】

- ・本社事務所の照明をLED照明に切り替え
- ・2030年までに営業用車両をHV車・EV車へ更新
- ・2030年までに外部報告書や契約書の電子化を推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。
2030年までの国際目標（2015年9月に国連で採択）。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことをスローガンとしている。